

設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



部品構成表

()は素材

フライシート×1 (ポリエステル)	トップカバー×1 (ポリエステル)	エアポンプ×1
ペグ×22 (スチール)	ハンマー×1 (スチール)	ロープ 3.5M×8 1M×6 (PP)
	※サービス品	※装着済み

設営方法

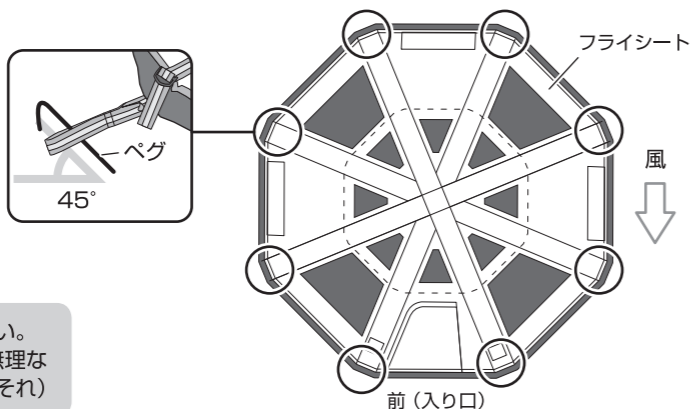
- 設営は2人以上で行ってください。
- 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

1 フライシートを広げて、ペグで仮留めする

- ペグは8か所打ち込む。
- 軽くたるみがある程度に広げる。

Point

- 入り口が風下になるようにしてください。
- フライシートはチューブにかからないようにしっかり広げてください。(特に入り口部分)
- 対角線を順番にペグダウンすると、きれいに張れます。



- 八方に引っ張りすぎない。(空気を入れたときに無理な力が加わり、破損のおそれ)



注意

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故のおそれ)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがのおそれ)
- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故のおそれ)

上手な
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがのおそれ)
- ランタンフックに、1kg以上の物を吊さない。(落下によるけがのおそれ)

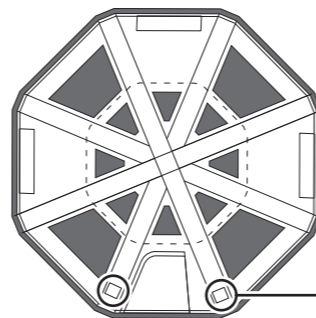
- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。

2 エアポンプでチューブに空気を送り込む

使用しない空気穴のふたは、必ず閉める。
※空気穴(2か所)のどちらからでも、空気を入れることができます。

Point

- チューブが折れていると、空気がうまく注入できません。1人が空気を送り込んでいる間、別の1人が内側から屋根を持ち上げてください。



- ①空気穴のふたを外して、中心のつまみが伸びた状態であることを確認する



- ②エアポンプの先端を空気穴に差し込み、右に回して固定する



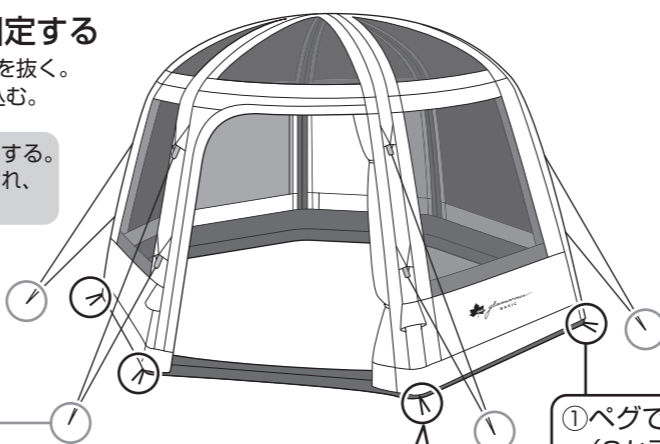
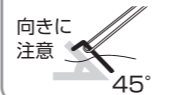
- ③空気を入れて、ふたを閉める

3 ペグで地面に固定する

- 仮留めしていたペグを抜く。
- ペグは22か所打ち込む。

- たるみがないようにする。(テントが風で飛ばされ、けがのおそれ)

- ②ペグで固定(14か所)



4 トップカバーを取り付ける

トップカバーの前後の向きを確認してから、かぶせる。

入り口側

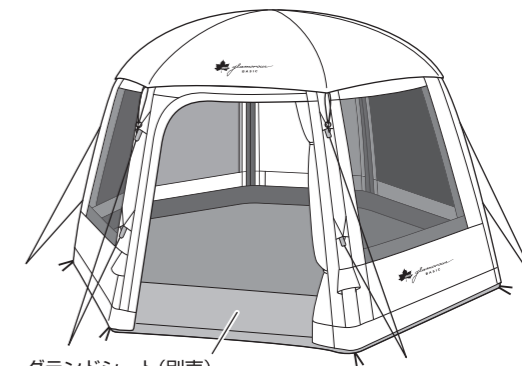


- フックをOリングにひっかける(8か所)



オプションアイテムと組み合わせる

別売のグランドシート(No.71805542)をプラスすると、さらに快適に使用できます。



グランドシート(別売)

※別売品は、予告なく販売を終了する場合があります。

撤収方法

- ①空気穴のふたを外して、中心のつまみを押し、へこませる

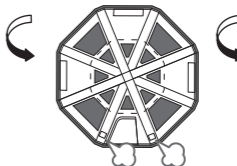


- 勢いよく空気が出るためバルブに顔を近づけない。(けがのおそれ)



注意

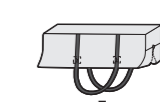
- ②ペグを抜く
- ③シートを巻いてチューブ(2か所)に残った空気を抜く



- ④シートを広げて、収納バッグの幅に合わせて折る



- ⑤収納バッグをかぶせる



- ⑥エアポンプからホースを取り外して、収納バッグに入れる

- 廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。
- 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

Designed by
LOGOS CORPORATION
発売元
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ / www.logos.ne.jp
■全国キャンプ場の空き情報 / www.campjo.com